

「憲法改正」「教委見直し」可決

県議会2月定例会が閉会

改憲求める意見書採択

富山県議会、賛成30 反対9

富山県議会は二月定例会最終日の二十四日、最大会派の自民が提出した「憲法改正の早期実現を求める意見書」を賛成多数で採択した。自民県議ら三十人が賛成、公明、民主、社民、共産などの九人が反対した。意見書では「現行憲法施行時に想定できなかった課題や新たな時代に対応できる憲法が求められている」などと主張。登壇した武田慎一氏（自民）は「東アジア情勢の緊迫化などもある。国民に対しての説明や議論を尽くして早期の憲法改正を求める」と述べた。一方、反対討論で田尻繁氏

（社民）は「どう改憲するか具体的な中身が全く述べられていない」と批判した。

採決の際、約五十人がいた傍聴席の一部から「強行採決するな」などの声上がり、議長が制する一幕もあった。

採決に対して、改憲に反対する県内十二団体が同日、連名で抗議声明を発表。日本国をまもる富山の会代表の青島明生弁護士は取材に「具体的な中身を定めていないのに、改憲を押し進めるのはおかしい。非常に残念だ」と話した。改憲の早期実現を求める

採決の際、約五十人がいた傍聴席の一部から「強行採決するな」などの声上がり、議長が制する一幕もあった。

採決に対して、改憲に反対する県内十二団体が同日、連名で抗議声明を発表。日本国をまもる富山の会代表の青島明生弁護士は取材に「具体的な中身を定めていないのに、改憲を押し進めるのはおかしい。非常に残念だ」と話した。改憲の早期実現を求める

同様の意見書は、少なくとも石川県議会でも可決。兵庫県議会では早期実現を求めた請願として採択されたが、反対会派が多く、意見書案は提出できなかった。

自治労本部・県職労
自治労のB会
女性会議
中心に
女子会
中心に
女子会
中心に

反対議員の皆さん

社民 (菅沢、田尻、井川)
民主 (坂野、山上、笠井)

公明 (吉田)、共産 (てづめ)
無所属 (酒井)

えび県評は賛成

代表権に拒否したり、えび県評異は動い

活断層「否定できず」

志賀原発 S-1、S-6

志賀原発の断層 1号機原子炉直下の「S-1断層」や1、2号機タービン建屋の直下を走る「S-6断層」など8本が敷地内で確認されている。近くの大規模断層の活動に伴って動き、地盤をずらす危険性が指摘されている。

- 4月23日(木) 訴訟 19回 口答弁論 (山崎や3予定)
- 27日(木) 明日 5役会評 高志会館 17:00です

